

事業優先順位		5 細事業: 中学校支援教育設備整備事業					整理番号	98				
目的	障がいをもつ児童生徒に適応した支援教育を実施する上に必要とする設備を整備し、もって特殊教育の振興に資することを目的とする。											
目標	障がいを持つ生徒に適応した支援教育を実施する上に必要とされる設備を、学校からの要望に基づき適切に整備する。											
事業実施主体	直営	事業開始年度	昭和47年度以前	根拠法令								
事業費・財源	財源内訳			平成25年度	平成24年度	比較			平成25年度	平成24年度	比較	
		事業費(決算額)(千円)		218	0	218	コスト情報・従事職員数	総コスト(千円)		294	397	-103
		一般財源		218	0	218		事業費	218	0	218	
		国府支出金		0	0	0		人件費	76	397	-321	
		地方債		0	0	0		公債費	0	0	0	
		その他特定財源		0	0	0		一人あたり(円)	3	4	-1	
				0				世帯あたり(円)	6	8	-2	
				0				職員数(人)	0.01	0.05	-0.04	
				0				再任用職員数(人)	0.00	0.00	0.00	
今後の方向性	新設の支援学級及び通級学級について、設置計画の適正な把握に努め、適切な備品整備を実施する。											
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	新設学級							
	A	A	A									

事業優先順位		4 細事業: 肢体不自由児童・生徒通学用タクシー借り上げ事業					整理番号	99				
目的	肢体不自由児童生徒の教育を受ける権利の保障及び保護者の経済的負担の軽減を図るため、市が直接児童生徒の送迎をタクシーにより行うため。											
目標	長野小学校・中学校の肢体不自由学級に通学する、児童生徒の保護者からの要望に基づき、通学等にかかるタクシー送迎を適切に実施し、保護者負担を軽減する。											
事業実施主体	直営	事業開始年度	平成7年度以前	根拠法令								
事業費・財源	財源内訳			平成25年度	平成24年度	比較			平成25年度	平成24年度	比較	
		事業費(決算額)(千円)		1,624	3,686	-2,062	コスト情報・従事職員数	総コスト(千円)		1,700	4,083	-2,383
		一般財源		1,624	3,686	-2,062		事業費	1,624	3,686	-2,062	
		国府支出金		0	0	0		人件費	76	397	-321	
		地方債		0	0	0		公債費	0	0	0	
		その他特定財源		0	0	0		一人あたり(円)	15	36	-21	
				0				世帯あたり(円)	36	87	-51	
				0				職員数(人)	0.01	0.05	-0.04	
				0				再任用職員数(人)	0.00	0.00	0.00	
今後の方向性	引き続き本事業を継続して実施する。											
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	肢体不自由児支援教育のセンター校である長野小学校及び長野中学校の肢体不自由児学級へ入級する児童生徒及びその保護者 4人							
	A	A	A									

細事業：中学校支援教育設備整備事業

1. 整備対象校及び学級

学校名	対象学級	整備金額
千代田中学校	情緒障がい学級	175,000円
加賀田中学校	難聴学級	42,852円
合 計		217,852円

2. 整備物品

学校名	整備物品
千代田中学校	耕うん機
加賀田中学校	ミュージックベル、パーテーション

細事業：肢体不自由児童・生徒通学用タクシー借り上げ事業

1. タクシー送迎について

各学校に設置されている支援学級のうち、肢体不自由児童生徒学級は、市立長野小学校、市立長野中学校に設置するセンター校方式を採用しており、校区外等から市立長野小学校、市立長野中学校に通学する肢体不自由児童生徒の教育を受ける権利の保障及び保護者の経済的、肉体的負担の軽減を図るためタクシーによる送迎を行った。

また、学校管理下で発生した児童生徒の事故等に対応するため、病院等に搬送するために利用した。

2. 支給実績について

項 目	人 数	金 額
小学校	1名	585,280円
中学校	0名	0円
救急用	805件	952,700円
放課後児童会在籍分	1名	86,040円
合 計	—	1,624,020円